the Japan Graphic services
JaGra

# 65th Anniversary

兵庫県グラフィックサービス工業会

# ご挨拶

兵庫県グラフィックサービス工業会
理事長　岸　　徹

この度、兵庫県グラフィックサービス工業会創立65周年を迎え、一言ごあいさつを申し上げます。

まず創立65周年を迎えることができましたのは、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会をはじめ友好団体の皆様、長年業界を支えていただいた会員の皆様や賛助会員の皆様、印刷関連のメーカー様、ベンダー様のご協力の賜であり、心より厚く御礼を申し上げます。

当組織の歴史を調べてみますと、兵庫県下で今から84年前の昭和８年ごろに、謄写版器材の販売業者と謄写印刷業者の両者が一体となり兵庫県謄写版業組合が設立し解散されています。また新たに、昭和16年に印刷業者だけの兵庫県孔版印刷業組合が設立し１年半後に発展的に解散されています。その後、洋紙の配給制の時代や戦争による混乱期を経て、業界組合が設立されては消滅を繰り返し、昭和27年２月10日に現在の組織の母体となる兵庫県謄写印刷業組合が設立されました。また、昭和30年８月20日には全日本謄写印刷業連盟が結成され、当組織の先輩の方々も発足メンバーとして努力されたようです。

物量が豊かでなかったわれわれの先輩印刷人は、戦前、戦後を通じ私たちには想像もできない苦労をされ、業界発展のために努力されてきました。私たちは、先人が経験された変化の時代とはまた違った変化の時代を生きています。変化を恐れずに環境は常に変化するものだと認識し、変化を愛し、変化を受け入れられる組織運営をして会員とともに今後も持続化可能な組織を目指します。そのためには今期より技術、商品品質だけでなく経営者品質を高める勉強会などを継続的に行い、経営者責任として健全に存続し続けられる会社や組織づくりができるよう、成長、発展のヒントを提供していけるような会にしていくつもりです。そして、数年後には、当会に入会していたから従業員とともに今の幸せがあると言っていただけるよう会員全員で力を合わせてまいります。

最後になりましたが、記念式典の準備や当日の運営、またこの記念誌の作成にご協力いただきました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

そして、80年、90年、100年と次世代のメンバーたちによって、当組合が、より一層活性化してくれていることを祈念し、ご挨拶といたします。

# 祝 辞

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

会 長 中 村 耀

ジャグラ兵庫県支部の結成65周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

ジャグラは平成27年６月に結成60周年を迎えましたが、今年で65周年ということは、全国組織より３年も早く業界の振興発展に取り組んだということになります。振り返ってみますと、65年の歴史の重みとそれらを紡いできた先輩方の努力の重さを改めて感じております。兵庫県支部におかれましては歴史も古く、全国組織の結成にも尽力されてこられたことはジャグラの記念誌にも記載され永く語り伝えられております。加えてジャグラの中心的な活動を担って頂きましたと同時に近畿地方協議会の雄としてジャグラに貢献されてきました。改めて御礼申し上げます。

さて、平成27に結成60周年を迎えたジャグラは、昭和30年に全日本謄写印刷連盟として発足、昭和36年に日本軽印刷業組合連合会に改称、昭和41年には社団法人日本軽印刷工業会として法人化を迎え、平成６年に社団法人日本グラフィックサービス工業会と改称、そして平成26年４月に公益法人改革に伴い一般社団法人日本グラフィックサービス工業会として改めてスタートしました。現在は『個人情報保護の推進とプライバシーマークの普及』『ジャグラBBによる情報配信事業』『DTPスクールの運営事業』を公益事業として推進しながら、ジャグラ会員に貢献できるような事業を推進して参りたいと考えております。

また、ジャグラ青年部であるＳＰＡＣＥ－21の活動は、ここにきて目に見えて活性化しておりますので、やがてはジャグラの運営も担ってくれるものと期待しております。

加えて、今年度より長らくジャグラの運営に携わってこられた方々を対象に「ジャグラマスターズクラブ」を結成し、また違った角度よりジャグラを応援していただくようになりました。

印刷業をとりまく環境はまだまだ予断を許すものではありませんが、ジャグラは、公益事業を推進しながら、会員のために役立つ事業も実施して参りますので、兵庫県支部の皆様には引き続きジャグラへのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、兵庫県支部を支え続けてこられました歴代の役員の皆様、会員の皆様に深く感謝申し上げ、兵庫県支部のますますのご発展を祈念し祝辞とします。

# 祝辞

日本グラフィックサービス工業会 近畿地方協議会

会長 山本耕司

兵庫県グラフィックサービス工業会創立65周年を迎えるにあたり、お祝いを申し上げる機会を得ましたことを大変嬉しく思いますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

神戸は、1995年(平成７年)１月17日５時46分52秒、淡路島北部沖を震源として、阪神大震災が発生し大きな被害を受けました。

特に震源に近い神戸市市街地の被害は甚大で、日本国内のみならず世界中に衝撃を与えました。しかし、1999年には、近畿で行われるジャグラ全国大会を、神戸の復興を全国のジャグラ会員に見せるのだという意気込みで開催するという根性のある支部であると思っています。

『鉄筆一本、鑢(やすり)一枚あれば簡単に商売のできる謄写印刷。
雨後の筍(たけのこ)のように次々と新しい業者が生まれる。
東京、大阪などと異なり市場の狭い神戸では、限られた仕事の量に蟻の如く血眼で集まり、
激しい闘争を続ける。
「競争入札！」まったく嫌な言葉だ。
蟻地獄のようなもので､「砂漠はあちこちに生きている」のである』。

これは、「兵庫県謄写印刷業組合」草創期の理事の一人で、後の「兵庫県軽印刷協同組合」の理事長を９年の長きにわたってつとめた藤崎　勉氏(交友印刷創業者､故人)が、昭和31年(1956)の『組合通信』に寄せた「砂漠は生きている」と題された文の一節です。

そして、ユーモアを感じさせる文章の最後には､『本年はより一層強力な組合に仕立てて、非組合員をあくまでボイコットするよう、組合員のみが儲けられるよう、もっていきたいものである』と締めくくられています。

非組合員の下りはともかくとして、組合員企業の繁栄を願う真情がひたひたと伝わってくるようです。

そうした熱い思いが脈々と受け継がれて、阪神大震災を乗り越え、現在の組合があるのだとあらためて思います。

振り返れば、この65年間は、ガリ版からタイプ、タイプから写植、写植からDTP、そして、デジタル印刷、Web、IoTというような実に目まぐるしいほどの技術革新と、それに伴う業界環境の変化の連続です。

戦後の混乱期を経て、高度経済成長から安定成長、さらにデフレ不況、グローバル化、少子高齢化など経済環境も大きく変わりました。

そういう中で「印刷」の可能性はどこにあるのか、果して、どのような未来が待っているのか。

海図なき航海とでもいえるよう　な時代だからこそ、羅針盤としての組合の果たす役割は以前にも増して大きくなっているのではないでしょうか。

こんな時だからこそ、知恵と工夫というジャグラのDNAをしっかりと継承されている兵庫県グラフィックサービス工業会のさらなる発展を祈念して、祝辞とさせていただきます。

# 祝辞

日本グラフィックサービス工業会 長野県支部

支部長 佐 野 脩 一

ジャグラ兵庫県支部が結成65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

ジャグラ長野県支部とジャグラ兵庫県支部が姉妹締結をしたのが、昭和44年(1969年)10月11日でした。2017年現在で48年も続いたことになります。これはすごいことだと思います。当時の日本経済は高度成長期の終わりにさしかかっていましたが、それでも毎年10%の成長が続いていました。

私が現在の会社に入社したのが、昭和51年(1976年)で、当時の長野県支部(旧日軽印)は、会員数54社あり、機関紙「長軽印第84号」が発行された年で非常に活気がありました。

第一次オイルショック(昭和49年)のすぐ後でしたので、経済の先行きに不安を抱え始めた時期でもありました。そうはいっても今ほどの不況感ではありませんでした。まだまだ印刷がたくさんある時代でもありました。ネガ原紙のタイプ印刷からタイプオフセットに移行の時期でもありました。お客様の所にも、タイプライターが置かれていました。ただ、早さは、我々プロが断然早く、急ぎの仕事はタイプ屋さんに頼めといった状況でした。活版印刷との戦いでは、圧倒的にタイプ印刷が優位でした。

ただ、当時も今と同じように、同業者間の価格競争が激しく、倒産や企業間格差の増大等問題点は今の時代の状況とさほど変わってはいないと思います。

その後、幾多の苦難を乗り越え、組合を現在まで存続してこられたのも、諸先輩方が血のにじむようなご苦労をされたおかげだと思います。昨今の我々の業界は、ペーパーレス、少子高齢化、お客様のコンピュータ化など、昔とは違う苦労があります。しかし活字文化は大切です。

今こそジャグラの原点に返り、組合員で情報を共有化して、時代の波に乗り遅れないように切磋琢磨していかなければなりません。努力だけではこの難局を乗り越えるのは大変です。覚悟も必要です。組合の役割も非常に大きいと思われます。

貴支部におかれましても、65周年を一つのステップに、今後ますますの発展をご祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

2014年10月 赤穂にて

# 祝辞

日本グラフィックサービス工業会 徳島県支部

支部長　山　中　克　彦

日本グラフィックサービス工業会兵庫県支部の設立65周年を迎えられますことに心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和27年の激動の時代にいち早く結成され、65年の歴史の重みとそれらを紡いでこられた先輩方のご努力の重さを深く感じております。昭和から平成へと時代が変わり、ガリ版から始まり和文タイプライター、電子組版機、パソコンによる組版そしてWebへとデジタル技術の進歩が加速しております。発足当時より会員皆様の柔軟な発想とお客様への思いが受け継がれ、貴会の発展と65年の永き歴史に刻み込まれていると思います。

兵庫県支部と徳島県支部の交流は、徳島県支部発足から続いていると聞いております。貴会員の企業訪問やセミナーなどを通じて先進的な取組を学ばせていただきました。また平成10年に徳島で、翌年の平成11年に神戸でジャグラ文化展が開催されました。これを機会に兵庫県支部と交流が深くなりました。

徳島大会にはバブル崩壊後の不況時にもかかわらず予想を超える全国会員の参加、兵庫県支部からも多くの会員が参加していただき心より感謝したことを思い出します。懇親会では兵庫大会のPRに神戸の高校生の獅子舞が来ておられました。PRの為に会場の入り口でスタンバイしてましたが、懇親会会場では阿波踊りが盛り上がり、阿波踊りの連長が予定外の奴踊りを熱演、時間が大幅に伸びて30分以上待ってもらったことが思い出されます。兵庫大会は阪神・淡路大震災の傷跡が残る中、兵庫県支部会員のご努力により盛会に開催され、神戸が復興し会員の皆様が元気に活動されていると実感いたしました。

印刷業界をとりまく環境の変化は早くなり予断を許すものではありませんが、兵庫県支部会員の皆様は一致団結して乗り越えられると思います。徳島県支部もぜひお仲間に加えていただき、共に学び共に栄えていきたいと思いますので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

最後に、兵庫県支部の更なるご隆盛と会員企業様のますますのご繁栄をご祈念し、創立65周年のお祝いの言葉にかえさせていただきます。

# 祝 辞

日本グラフィックサービス工業会 大阪府支部

支部長 岡　　達　也

兵庫県グラフィックサービス工業会がこのたび創立65周年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

1952年に兵庫県謄写印刷業組合として設立され、何度もの技術革新の波はもちろんのこと、1994年の阪神淡路大震災という大きな試練をも力強く乗りこえ、65年もの長きにわたって意義深い活動を続けられてきたことに心より敬意を表します。

支部長の岸様とは、私がこの業界に入ったばかりの2001年、ジャグラの北米視察でご一緒して以来のご縁です。

インターネットが印刷のビジネスをどう変えていくのかという視点で企画された視察旅行で、設備に依存するのではなく知恵を集約した業態に変革してかなければならない、と熱く語られていたことを今でも思い出します。

日頃は私たちOGSとはジャグラ近畿地方協議会が掲げる「近畿はひとつ」のスローガンの元に親しくさせていただいております。

それはひとえに私たちの先輩が築いてこられた、何物にも代えがたい財産だと思います。

これを機にこの良好な関係の上に、さらなる交流を通してそれぞれの会員企業と、組合の発展にむけて共に学び、刺激しあえる未来をつくって参りましょう。今後ともよろしくお願い申し上げます。

皆さまとの連携とさらなる進化を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

日本グラフィックサービス工業会 京都府支部

支部長 高　屋　伸　啓

このたびは一般社団法人日本グラフィックサービス工業会兵庫県支部創立65周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

1952年に兵庫県謄写印刷業組合として設立され65周年を迎えられ、本日11月22日、記念式典、そして輝かしい歩みの足跡をたどり、記念誌を発刊されることは、誠に意義深く、ご同慶に耐えません。

一言では語れませんが、65周年と申しましても、戦後の復興から高度成長、その後のバブル崩壊、震災に至るまでを振り返りますと、外部環境や業界の浮き沈みなど、本当に激動の65年でございました。そのような中で、いつも兵庫県グラフィックサービス工業会様は誠実に、着実に業績を伸ばして来られ近畿地方協議会を大阪様と共にジャグラを牽引されましたことは同じ地協仲間として敬意を表します。これも偏に歴代そして現在の役員、会員の皆様のたゆまぬご努力の賜物と存じます。

景気もわずかではございますが、回復基調に在る中、兵グラ様の2017年度スローガンは「超・超変革」持続可能な企業づくり・組合づくり、ジャグラ本体のスローガン、先人の意をくみ「強いジャグラにしよう」と同じく攻めの姿勢を感じられ感銘いたします。兵グラ様におかれましては岸支部長様を中心に新執行部のもと更なる発展を遂げるものと確信しております。

私どもも、近畿地方協議会各支部のご厚誼のもと、共存共栄の精神で力を合わせ、ジャグラを盛り立てて参りたいと考えておりますので、今後とも幾久しく、宜しくお願い申し上げます。結びにあたり、創立65周年を改めてお祝い申し上げますと共に、会員企業のご発展、関係者のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝辞

日本グラフィックサービス工業会 滋賀県支部

支部長 竹　田　正　司

多くの先達を輩出された兵庫県支部に敬意を表して、お祝いと、感謝を込めて…創立65周年おめでとうございます。

私が組合行事に参加させていただいて、いつも思い、勉強させていただいていますのは、兵庫県支部お役の皆様の思慮に富んだお話、発言でございます。そして、節目節目の行事をきっちりと成されることです。いつぞやの、淡路島のホテルでのパーティーは、今でも思い出の一ページでございますし、全国大会での災害を経験されたにも関わらずのおもてなし。などなど数えればいとまがございません。

さて65周年ですから、古い話を…私が何をお話しするよりも、当時生きた者の話がよろしいかと、微かな記憶を頼りに、母から昔話を聞いてまいりました。母は、ただいま92歳。終戦後から謄写版屋の店頭に立って、電話番から謄写版材料の販売を担当いたしておりました。お陰様で現在、口も足腰も丈夫で、店のあります京都烏丸丸太町に住まいいたして、副業の店番をいたしております。母の話を少々…

謄写版組合が結成されて幾年も経っておりませんでした。その中で「まったけ会」という集まりがございました。兵庫県は藤崎様、岸様。広島県の上野谷様、白鳥社様。東京は桜井様…。

幾度となくそれぞれのお店に集まって、今で言う「情報交換会」。深夜まで楽しい時間を過ごしました。ある方は、いつも違うお顔のステッキガールがお供でした。それはそれは素敵なお着物。もっと何かないの？「写真帳をめくって、調べておくよ…」70周年には間に合いますかね？母の寿命が。

日本グラフィックサービス工業会 奈良県支部

支部長 安　達　　研

この度は兵庫県グラフィックサービス工業会の創立65周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

ひとくちに65年と申しましても、昭和27年と言いますと、まだ戦後７年。戦争の爪痕があちこちに残っていた時代です。そのような時代に組合を立ち上げた先人たちの、おもいきり前を向いた努力の賜とうかがわれます。

資料を探してみますと、前田繁治氏が昭和52年に発刊されました「組合史資料」という立派な本が我が社にありました。それによりますと、昭和27年２月10日に兵庫県謄写印刷業組合総会が行われ、３月１日には兵庫組合報１号が刊行されています。余談ですが、奈良県謄写印刷業組合総会は翌28年８月30日に開かれております。さすがにその場に立ち会われた先輩方のお話を直接聞くことは出来ませんが、活気あふれる会であったことは想像がつきます。

65年の間には、謄写から軽印刷、ジャグラと呼び名が変わり、筆耕、タイプライター、写植、ワードプロセッサー、パーソナルコンピューターと様々な技術革新があり、片面機から両面機、モノクロコピーからカラーコピー、カラープリンターへとめまぐるしく時代は変わって行きました。

また兵庫県は阪神・淡路大震災という未曾有の災害にみまわれました。そのような大災害にも立ち向かわれてきた兵庫の皆様とは、先輩方の代から現在の私たち、そして後輩たちも、これからもずっと同じ印刷人として良いおつきあいをさせていただければと思います。

最後にこれまで兵庫県支部を支えてこられました役員の皆様、会員の皆様に深く感謝を申し上げ、兵庫県支部のますますの発展を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 辞

日本グラフィックサービス工業会 和歌山県支部

支部長　松　下　　忠

兵庫県グラフィックサービス工業会が創立65周年を迎えられましたことを、和歌山県支部会員一同、心よりお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、「日本グラフィックサービス工業会」のルーツである「全日本謄写印刷業連盟」の発足と共に歩み続け、歴史と伝統を築いてこられたました。これも偏に歴代の支部長をはじめ、会員の皆様の地道なご努力とご苦労の賜物と深く敬意を表します。

ご挨拶にあたり会暦が浅い私としましては、2015年に発刊された「日本グラフィックサービス工業50周年記念誌」を一読させて頂きました。その中に1995年「阪神大震災の大きな爪痕」と言う見出しで、会員企業の1/3が全壊した未曾有の災害に立ち向かう兵庫県支部と、仲間の窮地に全国から手を差し伸べるジャグラの姿が記録として残されていました。

当時、亡くなった経営者や社員がひとりもいなかったことは不幸中の幸いであり、１年後に退会した会員は１社もなく、また、組合員ではない人たちが「組合に入っていれば良かった」と言うほど、助け合いの精神と強い結束力で、再構築に向け果敢に挑戦する「ジャグラ兵庫県支部」がそこに在りました。

また、「近畿はひとつ」のスローガンを掲げ運営していた5府県の近畿地協とジャグラのとった迅速な支援体制は、他の団体から評価を受けるほどの対応であったと記されています。

今後も、創立65周年を機に、未曾有の災害に立ち向かい再構築した強い兵庫県支部として、近畿地協はもとより全国を牽引する力をより発揮いただけることを期待しております。

最後に、兵庫県グラフィックサービス工業会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、創立65周年のお祝いの言葉とさせて頂きます。

株式会社ティー･エム･ピー
## 髙橋　強司

この度、組合が創立65周年を迎えるに当り、心よりお慶び申し上げます。

私も組合に加入し57年が過ぎました。この間いろいろと大変な出来事がありましたが、特に忘れられない出来事を記憶をたどりながら書き出してみました。

昭和41年、県に２つの同業組合が出来そうになり、いち早く私共の組合を兵庫県軽印刷業協同組合として設立一本化に成功し組合員を増やしました。

又、昭和44年10月業界初の姉妹組合を長野県支部と締結し、現在も親しくお付き合いをしています。締結に際し兵庫県組合より27名が長野にお伺いし歓迎を受けた事を思い出します。

昭和46年８月21～23日の日程で第14回全国軽印刷文化典を神戸で開催する事となり、神戸ニューポートホテル(現創価会館)を主会場とし、現在では珍しい機材展をサンボホールで併催し、全国より556名の参加者が有り盛大に行われ、我々組合員は苦労も忘れ喜び合いました。

昭和48年にはオイルショックによって紙不足が生じ、全国的に業界は紙を手に入れる為、政府に陳情、又、一部では韓国から買い入れる人達もいました。

平成７年１月17日、6,500名以上の犠牲者を出した阪神・淡路大震災が発生し、組合員の中には事業所及び住居の全壊または半壊の被害を受けた仲間がたくさんあり、被害のなかった西部支部の皆が現地に見舞いに行きました。また当時理事長の小野さん、理事の末次さんと私は１月19日より連日、水・パン等食料を車に乗せ、神戸の組合事務所に行き、瓦礫の中を尼崎から神戸長田まで歩いて罹災した仲間を訪ね声を掛け励ましてきました。２月９日東京本部より金子会長、今井副会長を初め４名の方々が尼崎より歩いて事務所までお見舞いにこられ激励を受け、又、全国の会員皆様よりの多額の義援金を頂き感激いたしました。

平成９年、日軽印の名称変更にともない組合の名称を協同組合兵庫県グラフィックサービス工業会と変更しました。

平成11年８月、５年前に発生した大震災に対し全国の皆様からいただいたご厚情に少しでもご恩返しする意味をこめ、第42回ジャグラ文化典を26日～29日に神戸にて開催する事となり、組合員の皆様には一年前よりその準備に協力していただき、お蔭をもちまして全国より700名の皆様をお迎えして盛会に終えました事に感謝申し上げます。

平成14年10月４日、淡路夢舞台で創立50周年の記念式典を開催した。50周年を記念して徳島県支部との姉妹組合の締結をした、以後長野県組合共々姉妹組合としてお付き合いをさせていただいております。

平成18年、一時期、組合解散の危機がありましたが、以後の理事長をされた小野さん、山本さん、末次さん、会計の飛田さんのご尽力で立ち直り、今日ここに65周年の式典を迎える事が出来ましたこと、感謝申し上げます。

小野高速印刷株式会社
## 小野　泰生

兵庫県グラフィックサービス工業会の創立65周年を迎え、心からお祝いを申し上げますと共に、ご協力をいただいた関係の方々に、厚くお礼申し上げます。

私たちの組合は、その母体である「兵庫県謄写印刷業組合」から数々の変遷を経て、現在に至りました。

戦前、戦後に謄写印刷を開業した仲間は、筆耕用の鉄筆と、ヤスリ数枚、木製の手刷り印刷機だけが資本で、速い・安い、をキャッチフレーズにし、時にはコピー代わりの印刷をしてきました。それにお金がなくても、字が上手であれば始められた仕事でした。

芸術的な作品を除いては、どんなに上手に書いても、活字には到底叶いません。活版印刷に対して、大きなコンプレックスを抱く業界だったのです。

そのコンプレックスこそが、技術革新のパワーとなり、活版印刷とは別の道を選び、更なる高みを目指して今日を迎えております。この、ハングリー精神と、失敗を恐れぬパワーこそがジャグラの特徴であり、伝統といえるでしょう。

平成７年１月の阪神淡路大震災で、神戸の同業社は未曽有の大被害を受けました。多くの仲間はそこから立ち上がり、現在は大活躍をされています。

当時、ジャグラ本部を通して全国から多大のご支援をいただき、物心両全で復興の助けとなったことを、忘れることはできません。二度にわたる、ジャグら文化展神戸大会の大成功など、先輩や組合員のパワーを結集した努力の賜物です。これからどのような変化が、この業界を待ち受けているのか、いや我々がどのような変化を起こしていくべきなのか、一抹の不安と同時に、未来への期待も膨らみます。紙の印刷だけでなく、ネットの世界もコンテンツを必要としています。我々がかつて身をもって体験してきたハングリー精神と、新しい発想で、勇気をもって試行錯誤を続けていく限り、今は厳しくても、必ず新しい道を切り拓いていくことができる、と確信しています。

歴史ある「兵庫県グラフィックサービス工業会」も大きく世代が変わり、新しい活力ある息吹を感じています。今後、一層の発展を期待しております。

デジタルグラフィック株式会社
## 山本　康二

兵庫県グラフィックサービス工業会が創立65周年を迎えられ、誠におめでとうございます。ともに歩んできました会員として、心より喜ばしく感慨を深くしております。

日頃は、日本グラフィックサービス工業会の兵庫県支部(兵グラ)として、県下に事業所を置く会員の経営を支援するとともに、それぞれの技術の向上に資するべく新たな情報の提供を行うなど、支部会員の事業の健全な発展に務めてこられました。

しかしこの数年、業界を取り巻く環境が厳しさを増してきているのは、事業者の誰もが感じているところです。加速度的に変動する社会環境の中、旧態依然の事業・業界であり続けることは許されることではありません。

65周年を迎えて、先人達の築いてこられた業績に敬意を払いつつ、これから私たちがいかに歩んでいくのか、65周年を機に支部会員の皆様とともに知恵を絞り、新たな一歩を踏み出したいものと思います。

有限会社 末次印刷
## 末次　勝彦

先代の急死により、兵庫県軽印刷業協同組合西部支部の例会に出席するようになって40年の月日が流れました。出席しだした翌年役員改選があり、何も分からない私が会計に選出されました。(裏には先輩方の策略が有ったと思われます)以来切目なく役員が当り続けました。今年やっと相談役となり、一線より退く事になりました。

振り返ると色々な出来事が思い出されます。何と言っても阪神淡路大震災が今だ脳裏から消える事が出来ません。当時私が西部支部長をしており、小野理事長、高橋副理事長と打合せを重ねた上、ポリタンク等を購入し水を入れ、また警察に行き「通行許可書」を取り、三人で裏道より神戸に入りあの惨状を目にいたしました。「交友印刷・岸本出版・デジタルグラフィック」等々、各社を廻りましたが何とも言いようがない程の被害を受けられており「何とか手を差し伸ばさなければ」と思うが、どうすることも出来ませんでした。時間が過ぎるとともにジャグラ本部より全国より義援金が届き被害のあった組合員にとって本当に有難いご支援を頂きました。又、長野支部より日常生活に必要な瀬戸物等を大量に送って頂きました。本当にありがとうございました。

先輩諸氏が残してくださった教育基金を活用させて頂き組合員の交流と親睦に又勉強会に使わせて頂きました。お陰様で企業間での協力も大巾に増えたと思っております。今後も“輪・和”の兵庫支部として皆様の益々のご協力を期待しております。

富士高速印刷株式会社
## 多加　正三

創立65周年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。思い返せば早いもので、本会に入会させて頂きまして、もうすぐ35年近く経ちます。

「光陰矢の如し」まるで昨日の事のように思い出します。大先輩の高橋氏、小野氏が私みたいな青二才を林田の田舎にまでわざわざ入会に熱心に誘っていただき只々有難く感謝、感謝です。

その縁がありまして未だ親しくお付き合い、ご指導頂いております。勿論前支部長の末次氏も輪をかけたように細部にまでよく気の付く方で、思い返せば僕の周りには素晴らしい方々ばかりで僕はブレーンに随分と恵まれているとつくづく思う。

このまま本会が未来永劫長く続くよう願うばかりです。現理事長の岸さんにご苦労をお掛けしますが私共組合員を向後も共存共栄の方向に引導して頂けます様お願い申し上げ、創立65周年のお祝いの言葉とさせて頂きます。

有限会社 神戸軽印刷社
## 園　原　　明

兵庫県軽印刷業協同組合に参加させていただいて40年近くなろうとしています。年齢的にも上から数えた方が早くなりました。

入会当時から組合員数も少なくなりましたが、その分目が届いて、組合員同士仲間として行事等を行っているので、気軽に参加することができ、楽しませてもらっております。これからも肩のこらない組合活動で、もっと仲間を増やして欲しいと思います。

また、歴代役員さんには神戸の地震の時、親身になって助けて下さり、又励ましていただいたこと深く々感謝しております。本当にありがとうございました。

このような素晴らしい組合を共にこれからも頑張りたいと思います。

有限会社 岸本出版印刷
岸 本　洋 一

兵庫県グラフィックサービス工業会が兵庫県謄写印刷業組合として設立され、本年65周年を迎えられます事を、心よりお祝い申し上げます。

思いおこせば、「兵グラ」の活動に参加し始めたのは、22年前の阪神・淡路大震災の翌年の平成8年に私が社長に就任した年でした。それまでは、やみくもに仕事一筋でしたが、あの大震災の時に組合活動の重要性を認識し、困難な事に直面した時の一致団結する力、そして困った時の相互扶助の精神等、「兵グラ」ならではの指導力を今でも痛切に感じております。25周年時の記憶はありませんが、50周年時は、淡路ウェスティンホテルで盛大に執り行われた事を、今でも鮮明に覚えております。当時、藤崎さん(故人)、高橋さん、小野さん、そして諸先輩方、「兵グラ」の基礎づくりに貢献していただいた主要メンバーがまだまだお元気で、その後の「兵グラ」の発展を予感させる意気込みを感じたものでした。その後、組合員数は減少したものの、団結力や助け合いの精神は歴代の支部長に引き継がれ、増々強固なものとなっております。今後100年の大計に向け、この65周年が「兵グラ」発展の礎となる事を祈念しております。

## 創立65周年を迎えて

株式会社 トライス
岸　　徹

兵庫県グラフィックサービス工業会65周年おめでとうございます。

わが社と組合の関係は、２代目代表取締役 岸 晋が、昭和23年10月15日の兵庫県謄写印刷同業会の設立準備会に参加させていただいたのが最初かもしれません。戦後間もないこの時期に同業種組合の重要性を感じ参加させていただいたのでしょう。

時代とともに経済環境も変わり、現組合活動もその当時とは違った組合員の生き残りのための活動を各社模索しているのだと思います。私自身は、社長としてジャグラの組合活動に参加させていただいて９年余りになりますが、今回、理事長職を拝命し微力ながら今年度のスローガンである「持続可能な企業づくり・組合づくり」を少しでも実現できるよう各理事と力を合わせてまいりたいと思います。

既存のビジネスモデルだけでは生き残れないというのは、各組合員の共通認識だと思います。あとは、経営者として従業員のために早期に業態変革をし続ける決断をするかどうか、そこがポイントではないでしょうか。

なにとぞ積極的に組合活動にご参加くださって持続化可能な企業づくりのヒントをつかんでいただきたいと願っております。

## 創立65周年を向かえて

有限会社 わかばやし印刷
若 林　宏 昭

兵庫県グラフィックサービス工業会創立65周年おめでとうございます。

弊社は組合に入ってまだ25年ほどですが、先輩方のさまざまなご尽力の上で、65周年を向かえることができたと思います。

私が入った頃より組合員数は残念ながら減少しましたが、よりファミリー的な温かい雰囲気の組合になったように感じます。

理事の方々にはご苦労をおかけしますが、これからも各組合員を引っ張っていただき70周年を向かえれるよう期待いたします。

小倉印刷株式会社
小 倉　秀 一

このたびは、兵庫県グラフィックサービス工業会65周年おめでとうございます。

私の会社は昨年50周年で、その時から３代目の息子に代替わりし、今60年そして100年に向かって進み出したところですので、その少し前をジャグラに導いて頂いている気がしてなりません。

入会させていただき26年間、兵庫ジャグラの人のご縁のおかげさまで、自分自身も育てて頂いたと言っても過言では無く何時もそう思っております。

どんな人も

「人は互いに影響を与え、与えられずにはいられない」

そんなことも思います。

いつの時代も常に経営環境が刻々と変わって行き、どんな商売また団体であっても、50年100年と続けて行く事は、決して容易でない中、今日兵庫県グラフィックサービス工業会がある事は、先輩の方々の、私達後輩の事を思いやる気持ちからの御苦労の甲斐あってのものだと思い、感謝致します。

ジャグラがあるから仲間から互いに学べる。

刺激を与え合うことが出来る。

そしてそれぞれの会社が繁栄し、社員とその家族が幸せになり、地域が物心共に豊かなになり、ニッポンの国民が皆幸福感を感じられる。

そんな礎となる兵庫県グラフィックサービス工業会として、これからも益々、皆んなで力を合わせて参りましょう！

村上旺文堂
## 村　上　　央

兵庫県グラフィックサービス工業会65周年おめでとうございます。

早いもので組合に入会して27年になります。入った頃は、20代終わりでしたが、まだまだ印刷業界のことなどわからないことばかりでした。そんなときでも、先輩方は、優しく（厳しい時もありましたが）親切にいろいろとご指導くださいました。

また、西部支部の最後の６年間、支部長という大役も任せていただき、全国大会、近畿地協など大変勉強になりました。

兵庫県グラフィックサービス工業会のさらなる発展を祈念し、組合を続けていけるようみなさんと共に歩んで行きたいと思います。

交友印刷株式会社
## 杉 本　浩 康

この度、兵庫県グラフィックサービス工業会が創立65周年の節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。当社創業者の影井、藤崎ともに組合に対する思い入れは格別であったことを聞いております。これまで数々の苦難を乗り越え、業界と社会の発展に多大なる貢献をしてきた兵庫県グラフィックサービス工業会に畏敬の念を抱きます。

私自身はジャグラとは疎遠だったところ、昨年に末次前理事長からの熱いお誘いで行事に参加するようになりました。

今年には岸理事長にお声掛けいただき、会計担当理事を仰せつかりました。おかげさまで、兵庫の理事会はもちろん、全国大会や近畿ブロック協議会等にも参加するようになりました。日々、貴重な出会いと勉強をさせていただいており、感謝申し上げます。

ジャグリストとしてはまだまだ新米ですが、貴重な組合活動にお誘いいただいたご恩に報いられるよう、日々精進して参りたいと思います。

オフィルクリエーション
## 南　　正　祐

我々印刷業界の業態変化や革新のスピードは早く、先の見えない不安や課題。個人事業のデザイナーではあっても、多少の経営負担はあり、何より心身ともに健康に不安があっては仕事が難しい。

今年度の兵庫県県支部総会で懐かしい手に気づいた。とても印象的だった。インクが爪の間にこびりついた手。過去に自分も同じ手をしていた。

私の印刷人生は1976年ごろに父が色々な商売のために借りていた事務所に印刷機を入れたのがはじまりで、設備を増やせば仕事が増えていく時代でした。中学生のころから当時は活況だった印刷機材展(JP)に同行し、和文タイプラター、トレスコープ、手動写植機と写真技術・印刷関連技術を身につけていった。デザイン専門学校にも通った。

印刷事業で信用を得た父は別の事業の夢を追っていった。私は社会勉強も兼ねて印刷資材材料販売商社に就職。電算写植やDTPシステムといった先進設備を提案してきた。兵庫県内の様々な印刷会社を見ることができた。

会社の倒産で、DTPシステムおよびネットワーク機器の販売サポートの個人事業を始めた。お客様との縁を大事にしたかったし、ノウハウを活かしたかった。ジャグラへのお誘いがあり、仲間に入れていただいた。

ジャグラでは経営者である先輩方の人柄に触れ、色々ご指導を賜り、つきあいを重ね、先人の思いを知り、印刷業界の将来を考える。ジャグラは私の印刷人としての拠り所になっていきました。

実は私が印刷機に紙を通すことはなかった。刷ったあとのメンテナンスが役割だった。洗剤が染たウエスでローラーを拭いた手。

志を同じくするパートナーの存在を心強く感じています。

有限会社 字遊舎
## 春 名　政 和

このたび一般社団法人日本グラフィックサービス工業会兵庫県支部が65周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

印刷業界全体を見てみますと、現在は大きな変動の中にあると思います。デジタル化の進展やSNS等の情報技術の発展に伴い情報流通の基盤が変化し、印刷需要の減少、単価の低迷に直面していると考えられます。

こうした状況下にあっても社会、経済、市場の変化に機敏に対応し、会員皆一致団結し、相互に連携を図り、お互いに努力を重ねていくことが今後益々重要になってくると考えております。

結びに、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会兵庫県支部及び会員の皆様の御健勝と御発展を祈念いたしまします。

# 思い出

日本グラフィックサービス工業会 長野県支部

有限会社 長野プリントサービス　高　橋　公　男

ジャグラ兵庫県支部結成65周年を迎えられ、おめでとうございます。姉妹組合の長野の組合員もお招き頂きありがとうございました。

私事ですがこの業界に足を入れたのは古く、謄写版で原紙を切り印刷からです。私が自分で独立しようとしたのは長野国体の会開式の資料袋や帽子から座布団まで一式提供する事を事務局より受け、スポンサー集めの営業でこんなに苦労するなら独立する方が楽しいと思い始めた事でした。

組合加入は、佐野支部長の時代から現在に至っています。組合の行事には出来るだけ参加を心掛け、兵庫県には５～６回おじゃまさせて頂いて居ると思います。前後になるのですが、今でも兵庫県の神戸には色々な思い出が残っています。外国人居住地があった事からモダンで洒落た建物が多く出合った事を覚えています。その時、チョコと洋菓子をつまんだ事、暑くてビールが旨かった事。何処か分からなかったが牛肉が大変美味しかった事。鳴門海峡の渦潮観光があった事。ここは以前に“二十四の瞳”で小豆島へ行った時など、淡路島の観光の時、四国へ３～４度渡る時、船は近辺を通るが渦巻の渦が時間により大小で潮の加減で、その時その時で差があった事をおぼえている。中華街に行った時は横浜と同じに感じた事と思い出せばいろいろあります。

一番脳裏に焼き付いているのは大震災の後、総会か50周年記念の時か日新堂印刷の吉田社長の言われた言葉「仕事の印刷や製本は同業者へお願いすれば何とでもなる。機械設備に投資するなら人材に振り向け、他業界より給料は高いが人材を新たな部門に展開しています」この言葉がずっーと今まで頭の中にあったのですが、今回の岸社長の会社へお招き頂き吉田様の言葉通りに岸社長に引き継がれひと味違う元気な会社になっておられる事が分かり大変感激しました。

兵庫県の皆さん盛大に65周年を開催された事は大変意義ある事と思います。各社の健全な成長は組織の継続です。末永くよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

# 「思い出」と「感謝」

元事務局　甲　斐　千　浪

組合創立65周年誠におめでとうございます。

私は昭和61年12月に事務局員として採用されました。

当時の西下理事長と、岸本副理事長が試験官になられて、県民会館で60人余りの人達と、筆記試験を受けた日の事が懐かしく思い出されます。

この頃は、世の中がバブル景気になりつつある感が有り、組合員数もどんどん増えて、60社以上になり、組合活動も大変活発になっていました。何の取柄も無く、若くも無い私でしたが、仕事で認めて頂きたいという思いで毎日業務に取り組んでいました。

初めて経験する総会や新年互礼会の名札を筆で書くのが慣れなくて、前任者の枝川さん(50才の若さで亡くなられました)の美しい字をお手本にして、何んとか書き上げていました。今では筆字が得意になっております。

40周年記念式典も無事終えた数年後(３年後？)、平成７年１月17日、阪神淡路大震災が起きてしまったのです。

なんで神戸が？という思いで、自宅から組合員の方々と連絡を取りつつ一週間が過ぎ、地下鉄が私の住まいの西神から板宿迄復旧したので、小野理事長よりの指示を受けて三宮の事務局に向かいました。水、軍手等をリュックに入れて、毎日片道３時間かかって辿り着き、３時間ほど仕事をしたら又、３時間かけて自宅に帰るのが１ヶ月位続きました。

事務局の中は、大きなキャビネットが殆んど倒れており、地震が早朝では無く、昼間だったらと思うと今でもゾットします。

その様な中、全国の支部の方々から、暖かいご支援や義援金を頂きました。

ある組合員の方が、電話で「こんなに支援して頂いて、組合に足を向けて寝られない」と言って下さり、心底嬉しく思った事が鮮明に思い出されます。

個人でも、企業でも、友人や仲間と共に歩んで行く事の大切さを思い知りました。

私ももうすぐ70才になります。両親の介護の為、58才で自動車免許を取得し、若い頃からの念願であった朗読のインストラクターの資格も取って、朗読サロンとして指導させて頂き、また時々イベントでの依頼で源氏物語の朗読に出演させてもらっています。

思い返せば、印刷組合での10数年の短い期間ではありましたが、広い視野で物事を見て判断しながら人生を歩んで来る事が出来ましたのは、組合での経験が全てであったと思っております。

最後に、今の混沌とした世の中で、切磋琢磨して、長い歴史を重ねて来られました組合の皆様のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

65th Anniversary

# 思い出のスナップ

こんな写真がありました

昭和60年
西部支部ボーリング大会

全国大会
名古屋大会にて

平成2年
リョービ株式会社見学会

平成27年
台湾旅行

日本グラフィックサービス工業会長野県支部
日本グラフィックサービス工業会兵庫県支部

兵庫県軽印刷業協同組合
祝 西部支部創立40周年記念式典

## 平成26年 長野県支部 来兵庫県

姉妹支部長野県より兵庫県支部60周年記念事業として
兵庫県に来られました。

姫路城にて

赤穂温泉にて

2010年度総会
塩田温泉にて

2010年6月　全国徳島大会

2011年 全国京都大会

2012年 芦原温泉に旅行

姫路城の大修理にみとれる（三の丸広場）

2013年 近畿地協
兵庫県（姫路）

へぇ〜すごいもんだ

2014年 津居山での新年会

2015年 近畿地協 京都府

平成27年 台湾へ視察旅行をしました

# 台湾視察記

平成 27 年 11 月 19～21 日

**参 加 者**

| | | |
|---|---|---|
| 末次　勝彦 | 多加　正三 | 岸本　洋一 |
| 小野　泰生 | 小倉　秀一 | 鍋島　正芳 |
| 渡辺　勇生 | 住田　幸一（奈良） | 秋定　徳二（東京） |

**兵庫県グラフィックサービス工業会**

2015年11月 釣り大会

重!! 何kgあるのかな

# 兵庫県グラフィックサービス工業会

# 65th Anniversary 記念式典

2017年11月22日(水)

神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸内
ザ マーカス スクエア神戸５階

兵庫県グラフィックサービス工業会

## 創立65周年記念式典盛大に
## 経営品質高める組織目指す

兵庫県グラフィックサービス工業会（ジャグラ）は11月22日、兵庫県神戸市のホテルクラウンパレス神戸内ザ・マーカススクエア神戸で、65周年記念式典を行った。記念式典では、第1回代から15代の歴代理事長に感謝を込めて記念品を贈呈するとともに、懇親会で近畿地方協議会会員、長野・徳島の姉妹県支部、関連業者ら約80人が出席した。

岸徹理事長は1952年に兵庫県製本印刷業組合（現在の兵庫県印刷工業組合）が設立されたことを紹介。「印刷業界だけでなく、あらゆる業界で大変な変化が起きている。これから組織を通じてマネージメント、人財育成の情報を発信し続け、会員とその会社の社員が幸せを感じられる企業づくりを組織活動の一つとして取り組んでいきたい」と今後の展望を語り、チャールズ・ダーウィンの「進化論」の一節を贈った。

来賓祝辞で日本グラフィックサービス工業会の中村錦会長は「岸理事長の祝辞を述べた後、岸理事長が第1代の篠塚剛氏（株）ティー・エム・ビー、第2代の山本康一氏（デジタルグラフィック㈱、第15代の末次勝彦氏（有未次印刷）の歴代理事長に記念品を贈呈した。

代表謝辞で高橋氏は組合活動の歴史を振り返りながら、組合を存続してきた3名の理事長を讃えた。

記念式典に続き、懇親会が開かれ、ジャグラ兵庫県支部の姉妹県支部であるジャグラ長野県支部の佐野修一支部長が「本日、岸理事長の会社を見学させてもらい、人財育成の大切さを学んだ。これから強いジャグラを作るには、数字を上げて利益を出していかなければならない。周辺環境は激しく変化している。まず社長が先頭に立って幹部を育てていかなければならない」と述べ、乾杯の発声を行った。

懇親会ではオールディーズバンド「ルビーズ」による演奏や小野氏による組合活動の思い出が語られたほか、スペシャル企画として近畿地協から支部対抗歌合戦が開かれ、OGSを代表して山本耕治氏が熱唱して優勝した。

プリテックステージニュース

兵庫県グラフィックサービス工業会

## 「創立65周年記念式典」を晴れやかに開催

歴代理事長の4人に感謝状・記念品を贈る

兵庫県グラフィックサービス工業会（岸徹理事長）は11月22日午後3時半から、神戸市中央区の神戸ハーバーランドホテル・クラウンパレス神戸で、「創立65周年記念式典」を開催した。式典には、ジャグラから中村錦会長、神坂三博専務理事はじめ安達耕ジャグラ近畿地協会長や神山剛彦ジャグラ愛知県支部長、山中克彦ジャグラ徳島県支部長と姉妹支部の佐野修一ジャグラ長野県支部長らが祝いに駆けつけた。また式典半ばには、歴代理事長4人（篠塚剛氏（1代）、小野泰生氏（10代）、13代）、山本康二氏（14代）、末次勝彦氏（15代）に記念品の贈呈があった。

式典では、はじめに岸理事長があいさつに立ち、「印刷業界の初の試みである協同組合の歴史は、戦前、戦後の混乱期に先駆者達が苦労して築いてきた先人の功績を称えた。また席上、組織運営では会員とともに持続可能な組織基盤を固めるとともに、技術、商品の質だけでなく経営者品質を高める勉強会などを継続的に実施していきたい」と積極的に組合事業を図っていくと強調した。

ジャグラの中村会長、安達近畿地協会長らの乾杯あいさつと続き、歴代理事長に対し記念盾贈呈があった。その謝辞で高橋氏は「印刷業界だけでなく、あらゆる業界で大変な変化が起きている。これから組織を通じてマネージメント、人財育成の情報を発信し続け、会員とその会社の社員が幸せを感じられる企業づくりを組織活動の一つとして取り組んでいきたい」と今後の展望を語り、チャールズ・ダーウィンの「進化論」の一節を贈った。

来賓祝辞で日本グラフィックサービス工業会の中村錦会長は「岸理事長の祝辞を述べた後、岸理事長が第1代の篠塚剛氏（株）ティー・エム・ビー、第2代の山本康一氏（デジタルグラフィック㈱、第15代の末次勝彦氏（有未次印刷）の歴代理事長に記念品を贈呈した。

代表謝辞で高橋氏は組合活動の歴史を振り返りながら、組合を存続してきた3名の理事長を讃えた。

記念式典に続き、懇親会が開かれ、ジャグラ兵庫県支部の姉妹県支部であるジャグラ長野県支部の佐野修一支部長が「本日、岸理事長の会社を見学させてもらい、人財育成の大切さを学んだ。これから強いジャグラを作るには、数字を上げて利益を出していかなければならない。周辺環境は激しく変化している。まず社長が先頭に立って幹部を育てていかなければならない」と述べ、乾杯の発声を行った。

懇親会ではオールディーズバンド「ルビーズ」による演奏や小野氏による組合活動の思い出が語られたほか、スペシャル企画として近畿地協から支部対抗歌合戦が開かれ、OGSを代表して山本耕治氏が熱唱して優勝した。

ニュープリンティングニュース

## 変化を恐れず時代に対応して65年、さらなる飛躍を誓って始動

創立65周年をスタートラインに
「超・越変革」で魅力ある業界を目指す

65周年記念式典を盛大に挙行
持続可能な組合づくり進める

印刷タイムス

# 65th 記念式典
Anniversary

受　付

受　付

司　会

開会挨拶　岸本実行委員長

# 65th 記念式典
Anniversary

ご挨拶　岸理事長

祝辞　ジャグラ中村会長

祝辞　近畿地協安達会長

祝辞　兵庫県印刷工業会水落会長

感謝状を受ける 左より 髙橋氏・小野氏・山本氏・末次氏

# 65th 記念式典
Anniversary

滋賀
岩根 氏

京都
高屋 氏

和歌山
松下 氏

上手でもダメ
下手でもダメ
真面目でもダメ

不真面目でもダメ
いったいどうする
カラオケ大会

大阪
山本 氏

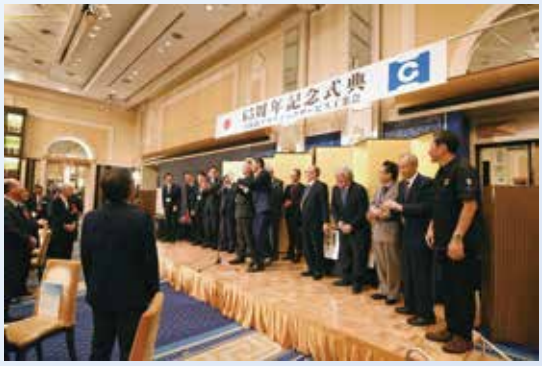
奈良
安達 氏

兵庫
小倉 氏

軽やかなリズム！ リードギターは若林さん（兵庫支部員）

岩根さん、「私のついだお酒、苦いですか」？

右のお二人、新婚さんですヨ！


終宴　皆様本当にありがとうございました

## 歴代理事長（平成15年～平成27年）

| | |
|---|---|
| 平成17年 | 小　野　泰　生 |
| 18年 | 〃 |
| 19年 | 山　本　康　二 |
| 20年 | 〃 |
| 21年 | 〃 |
| 22年 | 〃 |
| 23年 | 〃 |
| 24年 | 〃 |
| 25年 | 〃 |
| 26年 | 〃 |
| 27年 | 末　次　勝　彦 |
| 28年 | 〃 |
| 29年 | 岸　　徹 |

## 組合員名簿

| | | |
|---|---|---|
| オフィルクリエーション | 南　正祐 | 神戸市東灘区西岡本3-19-1-1005 |
| 有限会社岸本出版印刷 | 岸本　洋一 | 神戸市兵庫区西柳原町3-29 |
| 有限会社神戸軽印刷社 | 園原　明 | 神戸市中央区多聞通1-3-2 村上ビル |
| 交友印刷株式会社 | 杉本　浩康 | 神戸市中央区港島南町5-4-5 |
| デジタルグラフィック株式会社 | 山本　康二 | 神戸市中央区弁天町1-1 |
| 株式会社トライス | 岸　徹 | 神戸市中央区橘通1-1-9 |
| 株式会社リョーサン | 桂田　重信 | 神戸市兵庫区上沢通3-3-6 |
| 有限会社わかばやし印刷 | 若林　宏明 | 神戸市兵庫区荒田町3-2-19 |
| 株式会社大塚商会 | 石中　宏和 | 大阪市福島区福島6-14-1 |
| 青山企　画印刷 | 鍋山　正芳 | 姫路市青山北3-2-2 |
| 株式会社アズプラス | 藤井　裕介 | 加西市池上町208 |
| 小倉印刷株式会社 | 小倉　秀一 | 姫路市花田町一本松401-1 |
| 小野高速印刷株式会社 | 小野　泰生 | 姫路市平野町62 |
| 作本印刷 | 作本　卓也 | たつの市新宮町平野321-2 |
| 有限会社字遊舎 | 春名　政和 | 姫路市岡田150-4 大二商会ビル |
| 有限会社末次印刷 | 末次　勝彦 | 姫路市広畑区正門通3-4-3 末次ビル2・3F |
| 有限会社高橋タイプ | 高橋　剛一 | 加古川市野口町古大内451-4 |
| 株式会社ティー・エム・ピー | 高橋　強司 | 姫路市福沢町36 |
| 富士高速印刷株式会社 | 多加　正三 | 姫路市林田町上伊勢962-3 |
| 村上旺文堂 | 村上　央 | 姫路市勝原区下太田198-5 |
| 湯河印刷株式会社 | 湯河　康司 | 姫路市飾磨区野田町93 |

賛助会員

| | | |
|---|---|---|
| 株式会社姫路モトヤ | 橘　謙 | 神戸市長田区腕塚町4-1-19 |
| 株式会社モリサワ | 杉田　和正 | 大阪市浪速区敷津東2-6-25 |
| 株式会社ホリゾン西コンサル | 木下　陽平 | 京都市南区久世大藪町510 |
| 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 | 鈴木　暁洋 | 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル |
| 衣笠印刷材料株式会社 | 衣笠　慶紀 | 姫路市北条梅原町241 |
| リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社 | 東　栄治 | 高槻市今城町24-12 |

（2018年11月現在）

# 編集後記

アッ!!という間の65年。互いに喜び残念がりしながら過ぎてしまいました。

同業者の組合だからこそ分かる経営者の悩み、苦しみを分かち合ってきた兵庫県グラフィックサービス工業会の仲間たち。これからも次世代のメンバーたちとともに頑張っていきましょう。

さて、やっとの思いで記念誌ができました。ご協力いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。これからもユニークな兵庫県支部として組合員足並みを揃えて歩んでまいりますので、ジャグラ会員の皆様をはじめ近畿地協・姉妹組合の皆様よろしくお願い申し上げます。

創立65周年記念誌編集委員長
末　次　勝　彦

**兵庫県グラフィックサービス工業会 65周年記念誌**

発　行　日　　平成30年11月20日

発行責任者　　兵庫県グラフィックサービス工業会
理事長　岸　　徹
（事務局　神戸市中央区橘通1－1－9 株式会社トライス内）

編 集 委 員　　委 員 長　末次　勝彦
副委員長　高橋　強司
副委員長　小野　泰生

製　　作　　村上旺文堂

印刷・製本　　有限会社 末次印刷

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会　兵庫県支部

兵庫県グラフィックサービス工業会